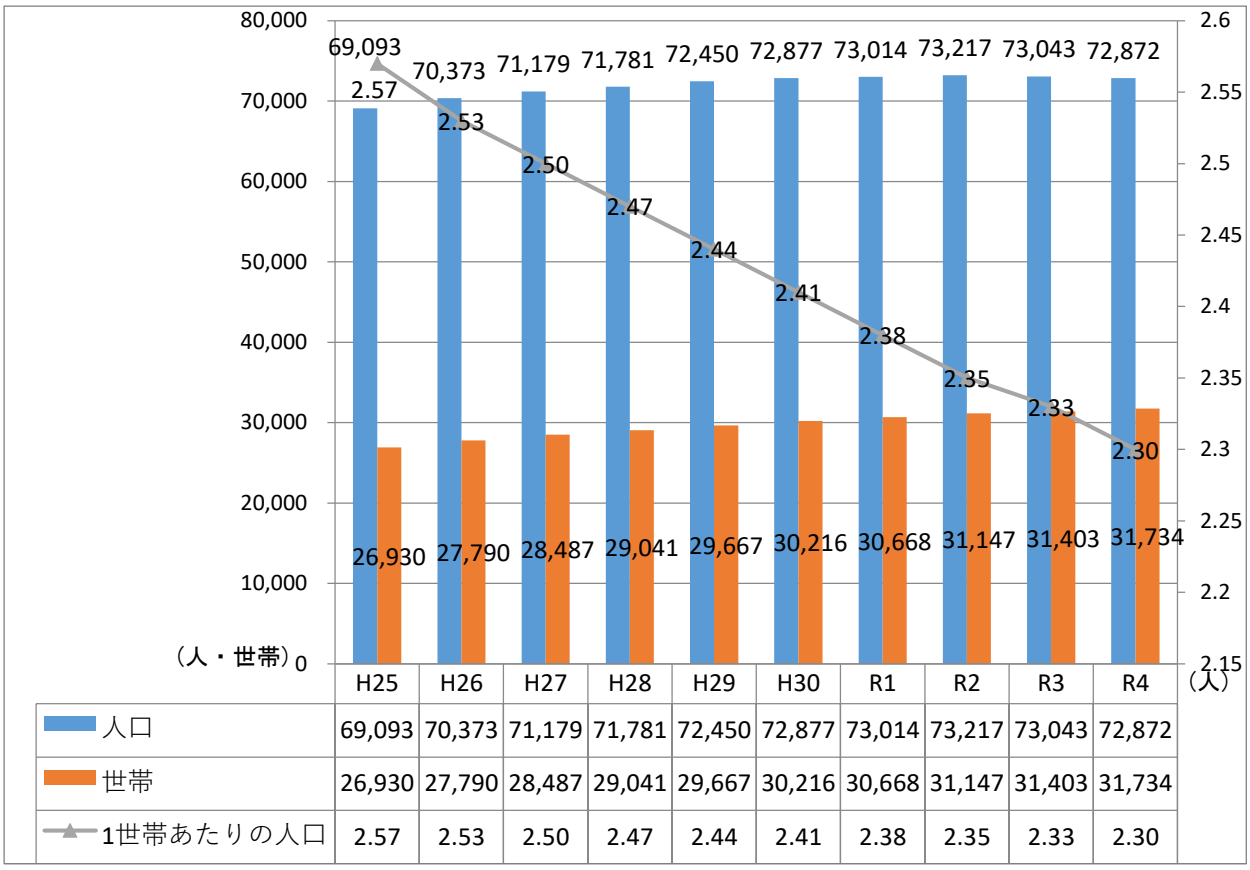
1　令和 4 年度ごみ処理の実績等について

（１）人口の推移

第 3 次吉川市一般廃棄物処理基本計画の計画期間である平成 25 年度から令和 4 年度までの 10 年間において、本市の総人口は、令和 2 年度まで増加傾向で推移しておりましたが、その後、減少に転じております。一方で、世帯数の増加と 1 世帯当たりの人口の減少が続いております。

図表 1　吉川市の総人口及び世帯数の推移（資料：住民基本台帳）



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
人口	69,093	70,373	71,179	71,781	72,450	72,877	73,014	73,217	73,043	72,872
世帯	26,930	27,790	28,487	29,041	29,667	30,216	30,668	31,147	31,403	31,734
1世帯あたりの人口	2.57	2.53	2.50	2.47	2.44	2.41	2.38	2.35	2.33	2.30

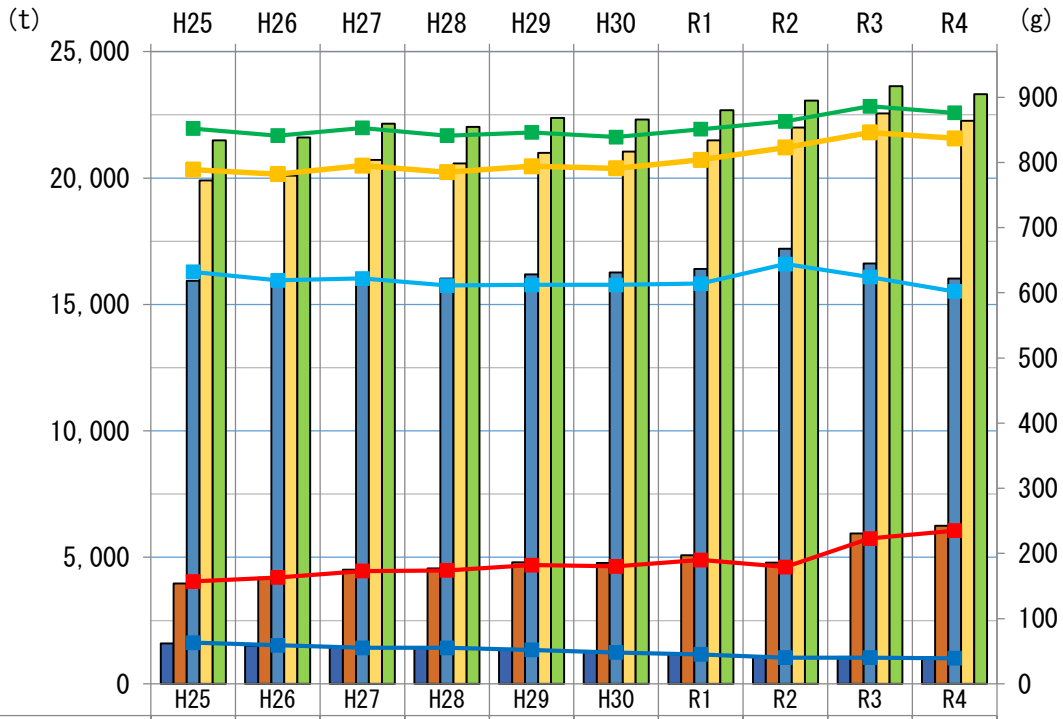
（２）ごみの量の推移

集団資源回収量は、減少傾向にあり、１人１日当たりの量も減少しています。

生活系ごみ排出量は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和 2 年度及び令和 3 年度を除くと、僅かながら減少傾向となっています。

事業系ごみ排出量は、増加傾向にあり、生活系ごみや集団回収量と合わせたごみ排出量やごみ総排出量を引き上げることとなりました。

図表 2　ごみの量の推移



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
集団資源回収量(t)	1,593	1,506	1,441	1,448	1,380	1,270	1,189	1,064	1,068	1,044
事業系ごみ(t)	3,970	4,195	4,515	4,556	4,803	4,779	5,085	4,793	5,938	6,247
生活系ごみ(t)	15,932	15,900	16,201	16,019	16,191	16,268	16,404	17,200	16,623	16,020
ごみ排出量(t)	19,902	20,095	20,715	20,575	20,995	21,047	21,489	21,993	22,562	22,268
ごみ総排出量(t)	21,495	21,600	22,156	22,023	22,375	22,317	22,678	23,058	23,630	23,311
人口（人）	69,093	70,373	71,179	71,781	72,450	72,877	73,014	73,217	73,043	72,872
1人1日あたりの集団資源回収量(g)	63	59	55	55	52	48	45	40	40	39
1人1日あたりの事業系ごみ排出量(g)	157	163	173	174	182	180	190	179	223	235
1人1日あたりの生活系ごみ排出量(g)	632	619	622	611	612	612	614	644	624	602
1人1日あたりのごみ排出量(g)	789	782	795	785	794	791	804	823	846	837
1人1日あたりのごみ総排出量(g)	852	841	853	841	846	839	851	863	886	876

※1人1日あたりのごみ排出量＝ごみ排出量÷年度末人口÷365日（又は366日）

図表 3　ごみと資源の排出量の実績

（単位　：　t）

			H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度末人口（人）			69,093	70,373	71,179	71,781	72,450	72,877	73,014	73,217	73,043	72,872
生活系ごみ	燃やすごみ		12,626	12,724	12,961	12,844	12,918	12,909	13,001	13,436	13,086	12,720
	燃えないごみ		330	322	323	312	321	330	329	371	317	283
	有害ごみ		54	53	53	59	61	60	62	65	61	57
	粗大ごみ		651	638	672	660	730	725	781	910	809	727
	資源ごみ		2,271	2,162	2,191	2,144	2,161	2,244	2,231	2,418	2,349	2,233
		かん	263	253	245	251	249	256	249	244	246	234
		びん	502	502	500	497	487	474	460	458	452	436
		ペットボトル	240	234	240	252	264	285	283	298	305	306
		紙・衣類	1,265	1,165	1,193	1,132	1,149	1,220	1,227	1,406	1,337	1,243
			新聞	322	277	258	242	211	196	162	162	145	124
			雑誌	413	362	367	245	342	208	386	300	258	243
			雑がみ	99	101	118	205	115	313	132	262	273	249
			段ボール	265	258	269	270	292	315	345	450	446	429
			紙パック	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
			衣類	164	164	180	168	187	186	201	230	216	197
		剪定枝・刈草		0	8	13	13	11	9	12	12	8	14
	生活系ごみ			15,932	15,900	16,201	16,019	16,191	16,268	16,404	17,200	16,623	16,020
	1人1日あたりの生活系ごみ排出量(g)			632	619	622	611	612	612	614	644	624	602
事業系ごみ	燃やすごみ			3,941	4,078	4,172	4,204	4,268	4,493	4,677	4,646	5,621	5,907
	燃えないごみ			29	26	28	29	34	24	25	24	14	13
	剪定枝・刈草			0	91	314	324	502	261	383	123	303	327
	事業系ごみ			3,970	4,195	4,515	4,556	4,803	4,779	5,085	4,793	5,938	6,247
	1人1日あたりの事業系ごみ排出量(g)			157	163	173	174	182	180	190	179	223	235
ごみ排出量				19,902	20,095	20,715	20,575	20,995	21,047	21,489	21,993	22,562	22,268
1人1日あたりのごみ排出量(g)				789	782	795	785	794	791	804	823	846	837
集団資源回収量				1,593	1,506	1,441	1,448	1,380	1,270	1,189	1,064	1,068	1,044
ごみ総排出量				21,495	21,600	22,156	22,023	22,375	22,317	22,678	23,058	23,630	23,311
1人1日あたりのごみ総排出量(g)				852	841	850	841	846	839	849	863	886	876

※端数処理しているため、合計が合わない場合があります。

※表内の1人1日あたりの各ごみの量は、各ごみの量÷365日（366日）÷年度末人口

（３）ごみの量の比較

本市のごみの量について、図表 4 から図表 10 により、1 人 1 日あたりのごみの量について、平成 25 年度から令和 3 年度までの実績を用いて、全国平均、埼玉県平均、東埼玉資源環境組合構成市町である近隣 5 市 1 町の平均と比較しました。

集団資源回収量は、本市は全国平均や県平均、5 市 1 町平均を上回っていますが、いずれも減少傾向となっています。

家庭系ごみは、生活系ごみから資源ごみを除いたものですが、量については、本市は全国平均より多く、県平均よりやや多く、5 市 1 町平均より少ない状況です。推移については、生活系ごみとほぼ同様です。

生活系ごみの量は、本市は全国平均よりやや多く、県平均や 5 市 1 町平均をやや下回っています。いずれも平成 29 年度又は平成 30 年度まで減少傾向が続いた後、増加傾向に転じています。

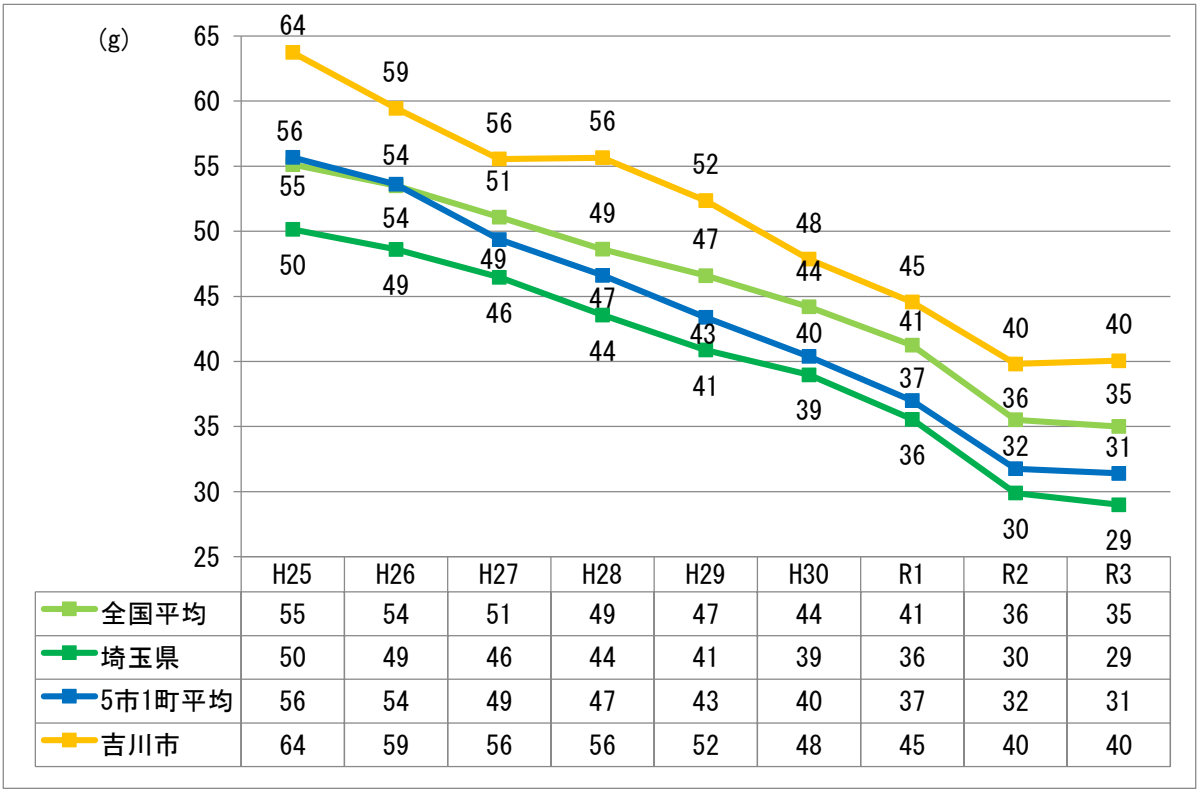
ごみ総排出量及びごみ排出量は、両者の違いは集団資源回収量の有無であるため、ごみの量や推移の比較結果はほぼ同様です。量については、本市は全国平均より大幅に少なく、県平均及び 5 市 1 町平均を下回っています。推移については、全国平均、県平均、5 市 1 町平均は減少傾向を経てほぼ横ばいの状況ですが、本市は平成 30 年度を境に減少傾向から増加傾向に転じており、徐々に各平均に接近してきています。

再生利用率は、本市は県平均より低く、全国平均に接近しており、5 市 1 町平均を上回っています。全国平均や県平均はほぼ横ばい推移していますが、本市は 19%前後でばらついた推移をしており、5 市 1 町平均の推移と類似しています。

本市のごみの量を全国平均と比較すると、本市は全国平均より家庭系ごみが多く、資源ごみが少ないため、生活系ごみが多くなっています。なお、本市は全国平均より資源ごみがやや少なく、集団資源回収量がやや多くなっていますが、資源ごみと集団資源回収量の合計を比べるとほぼ同じ水準です。また、本市は全国平均より生活系ごみや集団資源回収量が多いものの、事業系ごみが大幅に少ないため、全体としてごみ排出量やごみ総排出量が少なくなっています。

※本市のごみの量の実績については、原則として、「吉川市清掃事業概要」から引用し、1 人 1 日あたりのごみの量を算出する際の総人口は各年度末 3 月 31 日現在の人口を用いていますが、ごみの量の比較に用いた数値は「一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）」または「一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）」から引用又は算出しており、1 人 1 日あたりのごみの量を算出する際の総人口は各年 10 月 1 日現在の人口を用いています。そのため、同一年度であっても、その他に掲載している本市のごみの量の実績値と異なっている場合があります。

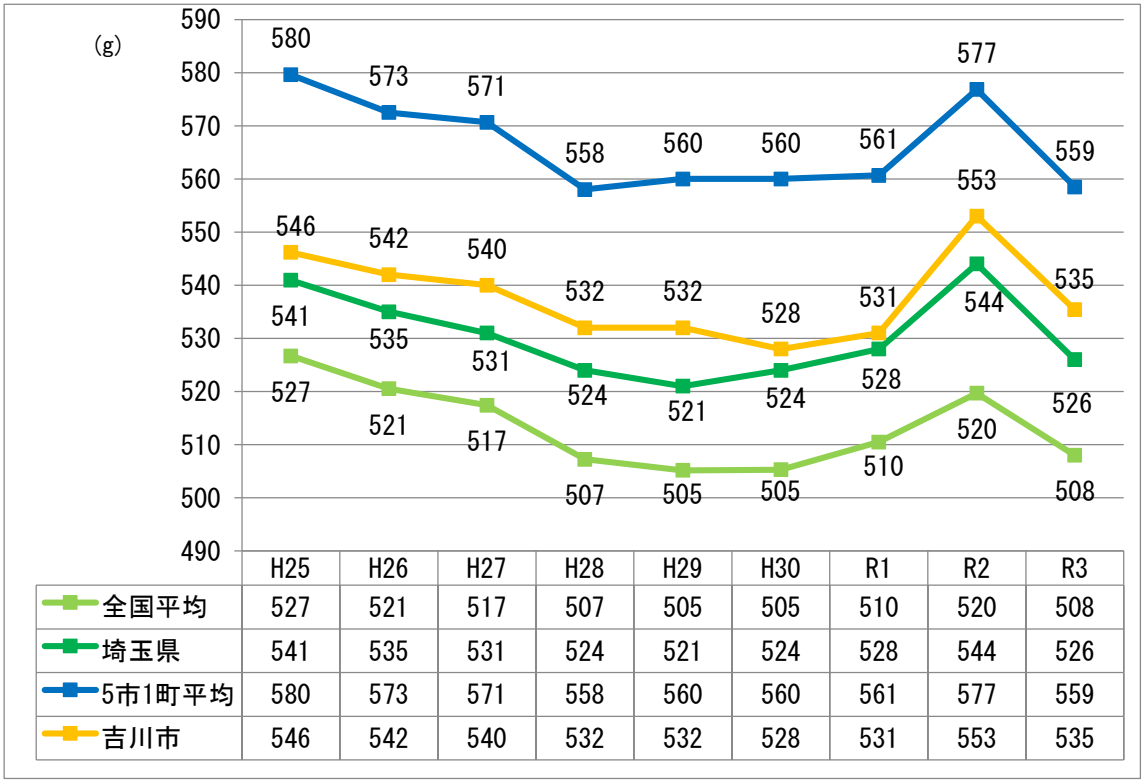
図表 4　1 人 1 日あたりの集団資源回収量の比較



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	55	54	51	49	47	44	41	36	35
埼玉県	50	49	46	44	41	39	36	30	29
5市1町平均	56	54	49	47	43	40	37	32	31
吉川市	64	59	56	56	52	48	45	40	40

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

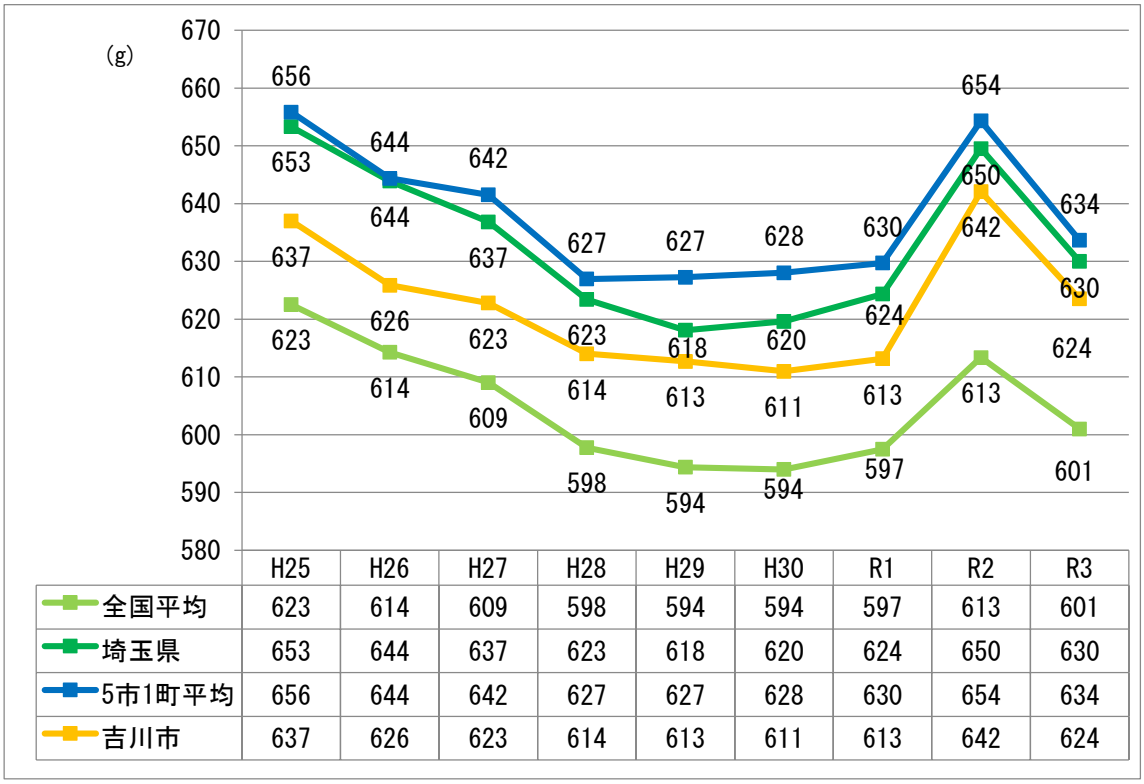
図表 5　1 人 1 日あたりの家庭系ごみ排出量の比較



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	527	521	517	507	505	505	510	520	508
埼玉県	541	535	531	524	521	524	528	544	526
5市1町平均	580	573	571	558	560	560	561	577	559
吉川市	546	542	540	532	532	528	531	553	535

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

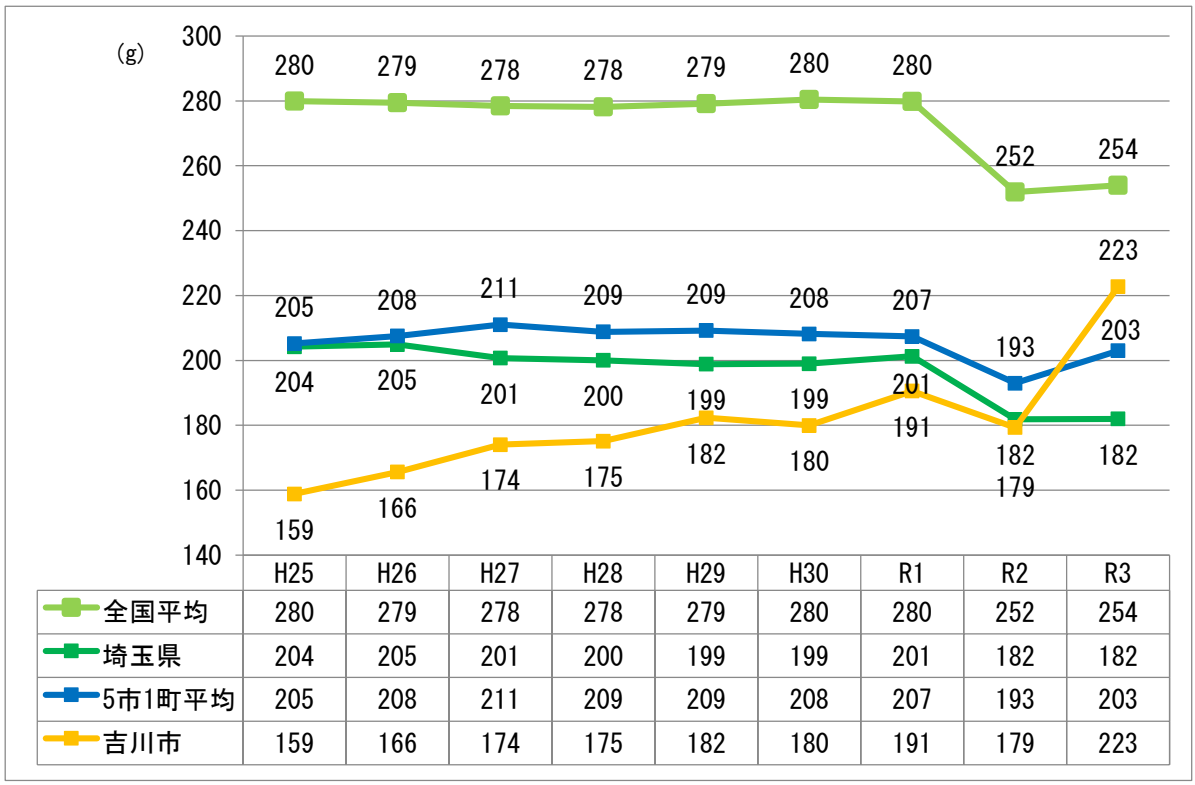
図表 6　1 人 1 日あたりの生活系ごみ排出量の比較



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	623	614	609	598	594	594	597	613	601
埼玉県	653	644	637	623	618	620	624	650	630
5市1町平均	656	644	642	627	627	628	630	654	634
吉川市	637	626	623	614	613	611	613	642	624

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

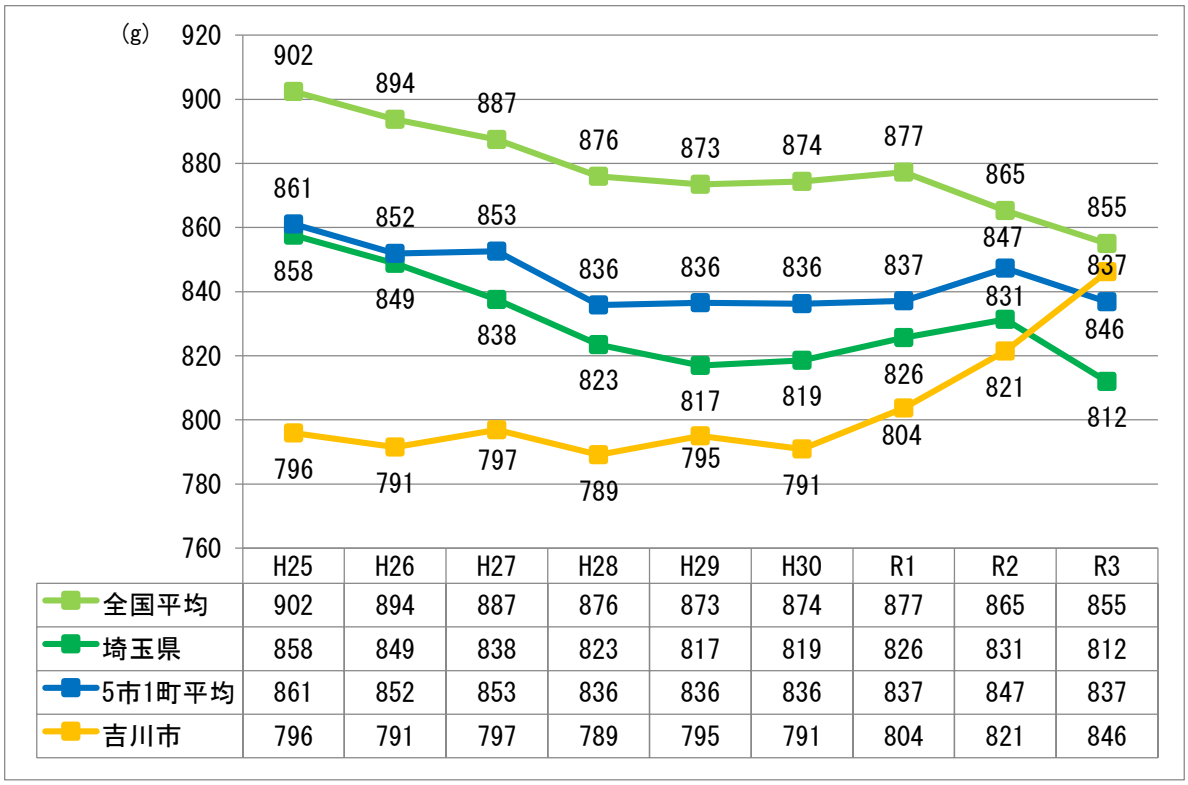
図表 7　1 人 1 日あたりの事業系ごみ排出量の比較



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	280	279	278	278	279	280	280	252	254
埼玉県	204	205	201	200	199	199	201	182	182
5市1町平均	205	208	211	209	209	208	207	193	203
吉川市	159	166	174	175	182	180	191	179	223

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

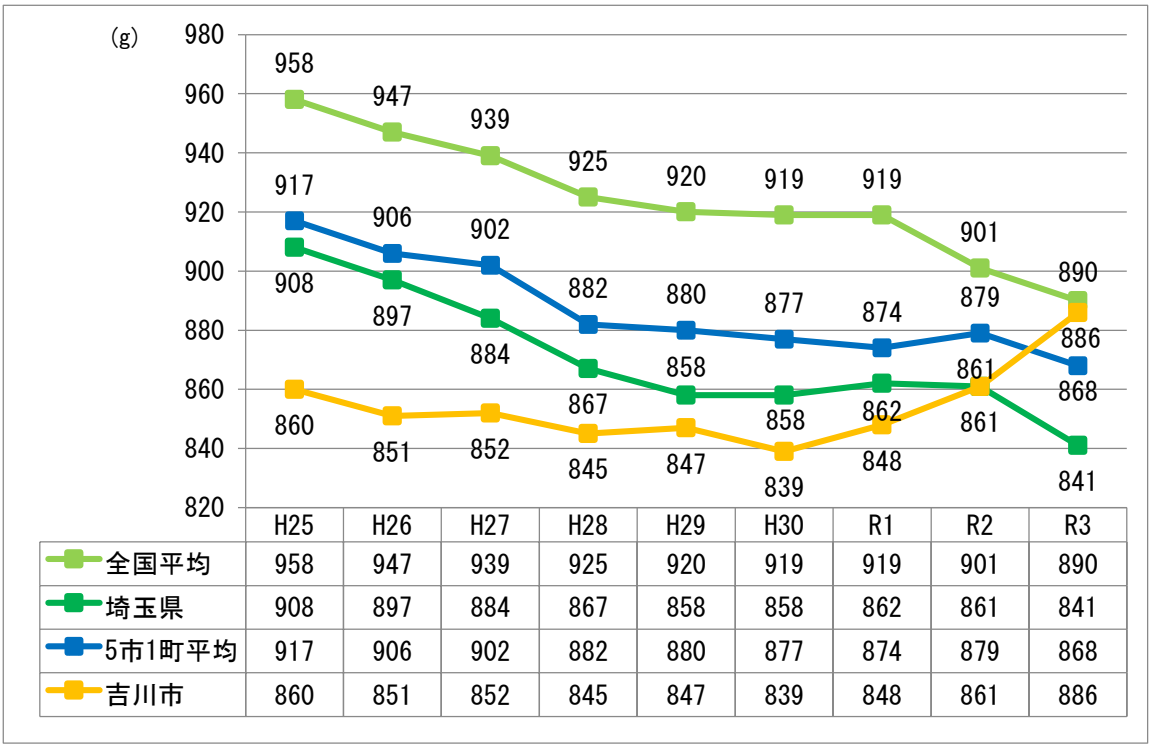
図表 8　1 人 1 日あたりのごみ排出量の比較



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	902	894	887	876	873	874	877	865	855
埼玉県	858	849	838	823	817	819	826	831	812
5市1町平均	861	852	853	836	836	836	837	847	837
吉川市	796	791	797	789	795	791	804	821	846

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

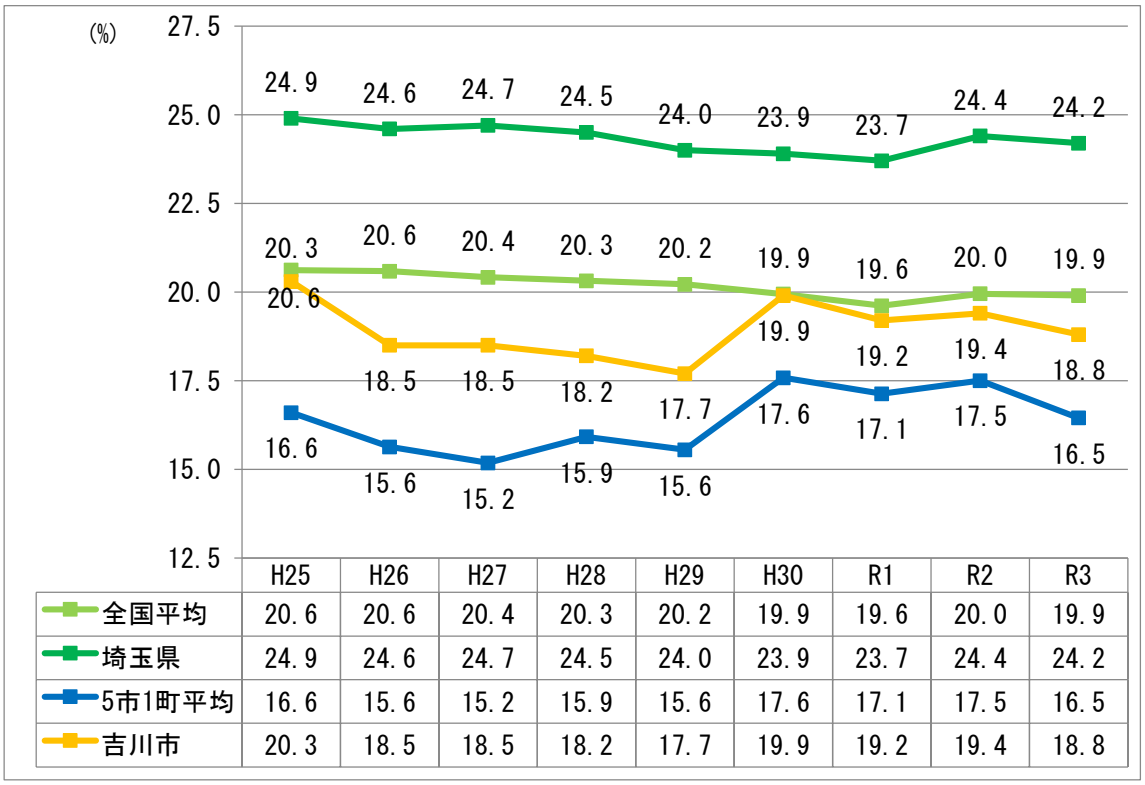
図表 9　1 人 1 日あたりのごみ総排出量の比較



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	958	947	939	925	920	919	919	901	890
埼玉県	908	897	884	867	858	858	862	861	841
5市1町平均	917	906	902	882	880	877	874	879	868
吉川市	860	851	852	845	847	839	848	861	886

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

図表 10　再生利用率の比較



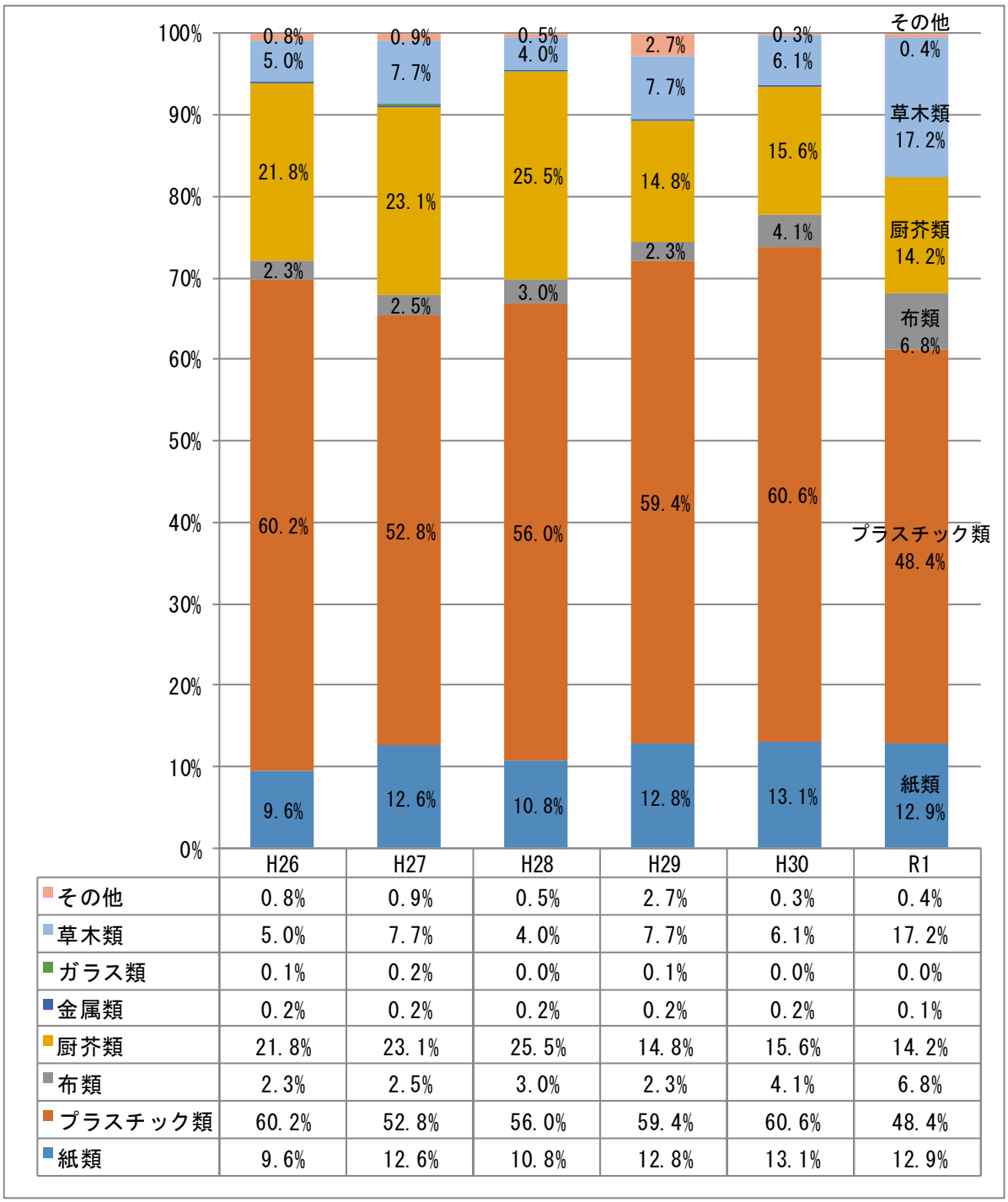
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国平均	20.6	20.6	20.4	20.3	20.2	19.9	19.6	20.0	19.9
埼玉県	24.9	24.6	24.7	24.5	24.0	23.9	23.7	24.4	24.2
5市1町平均	16.6	15.6	15.2	15.9	15.6	17.6	17.1	17.5	16.5
吉川市	20.3	18.5	18.5	18.2	17.7	19.9	19.2	19.4	18.8

資料：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）、一般廃棄物処理状況の概況（埼玉県）

（４）ごみの組成

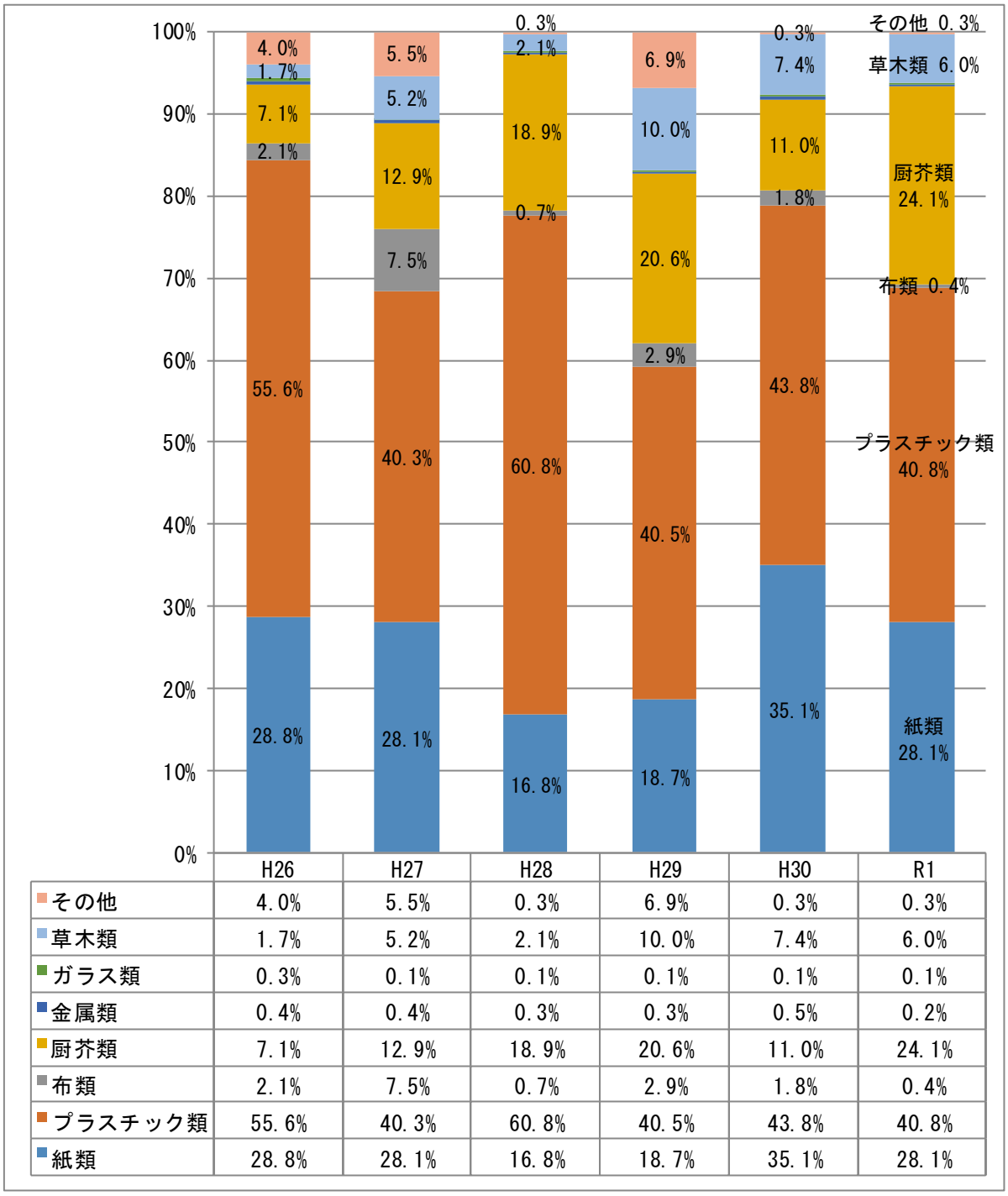
生活系と事業系の燃やすごみの組成については、毎年、東埼玉資源環境組合において、調査を実施しています。平成 26 年度から令和元年度までの組成調査結果は図表 3-17、図表 3-18 に示すとおりです。なお、令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から調査を中止しています。

図表 11　生活系燃やすごみの組成の推移



	H26	H27	H28	H29	H30	R1
その他	0.8%	0.9%	0.5%	2.7%	0.3%	0.4%
草木類	5.0%	7.7%	4.0%	7.7%	6.1%	17.2%
ガラス類	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
金属類	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
厨芥類	21.8%	23.1%	25.5%	14.8%	15.6%	14.2%
布類	2.3%	2.5%	3.0%	2.3%	4.1%	6.8%
プラスチック類	60.2%	52.8%	56.0%	59.4%	60.6%	48.4%
紙類	9.6%	12.6%	10.8%	12.8%	13.1%	12.9%

図表 12　事業系燃やすごみの組成の推移



	H26	H27	H28	H29	H30	R1
その他	4.0%	5.5%	0.3%	6.9%	0.3%	0.3%
草木類	1.7%	5.2%	2.1%	10.0%	7.4%	6.0%
ガラス類	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
金属類	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.5%	0.2%
厨芥類	7.1%	12.9%	18.9%	20.6%	11.0%	24.1%
布類	2.1%	7.5%	0.7%	2.9%	1.8%	0.4%
プラスチック類	55.6%	40.3%	60.8%	40.5%	43.8%	40.8%
紙類	28.8%	28.1%	16.8%	18.7%	35.1%	28.1%

（５）第 3 次処理基本計画の目標の達成状況

平成 25 年 3 月に策定した第 3 次処理基本計画においては、平成 29 年度を中間目標年度、令和 4 年度を計画目標年度として、「環境にやさしいまちづくり　～持続可能な循環型社会をめざして～」を基本目標に、次の事項について目標値を定めています。

第 3 次処理基本計画の目標値

① 1 人 1 日あたりのごみ排出量（g/人/日）

定義	1 人 1 日あたりのごみ排出量（g/人/日） ＝ 生活系ごみ排出量(t/年)＋事業系ごみ排出量(t/年) ／ 年度末人口（人）×365 日（または 366 日）×1000×1000
目標値	※平成 23 年度より 8%以上を削減 平成 23 年度 813g　⇒　令和 4 年度 746g 以下

② ごみの資源化率（%）

定義	ごみの資源化率（%）＝ 総資源化量(t/年)×100 ／ ごみ総排出量(t/年)
目標値	※ごみ発生量の 25%以上を資源化 平成 23 年度 18.5%　⇒　令和 4 年度 25%以上

③ 最終処分量（埋め立て量）

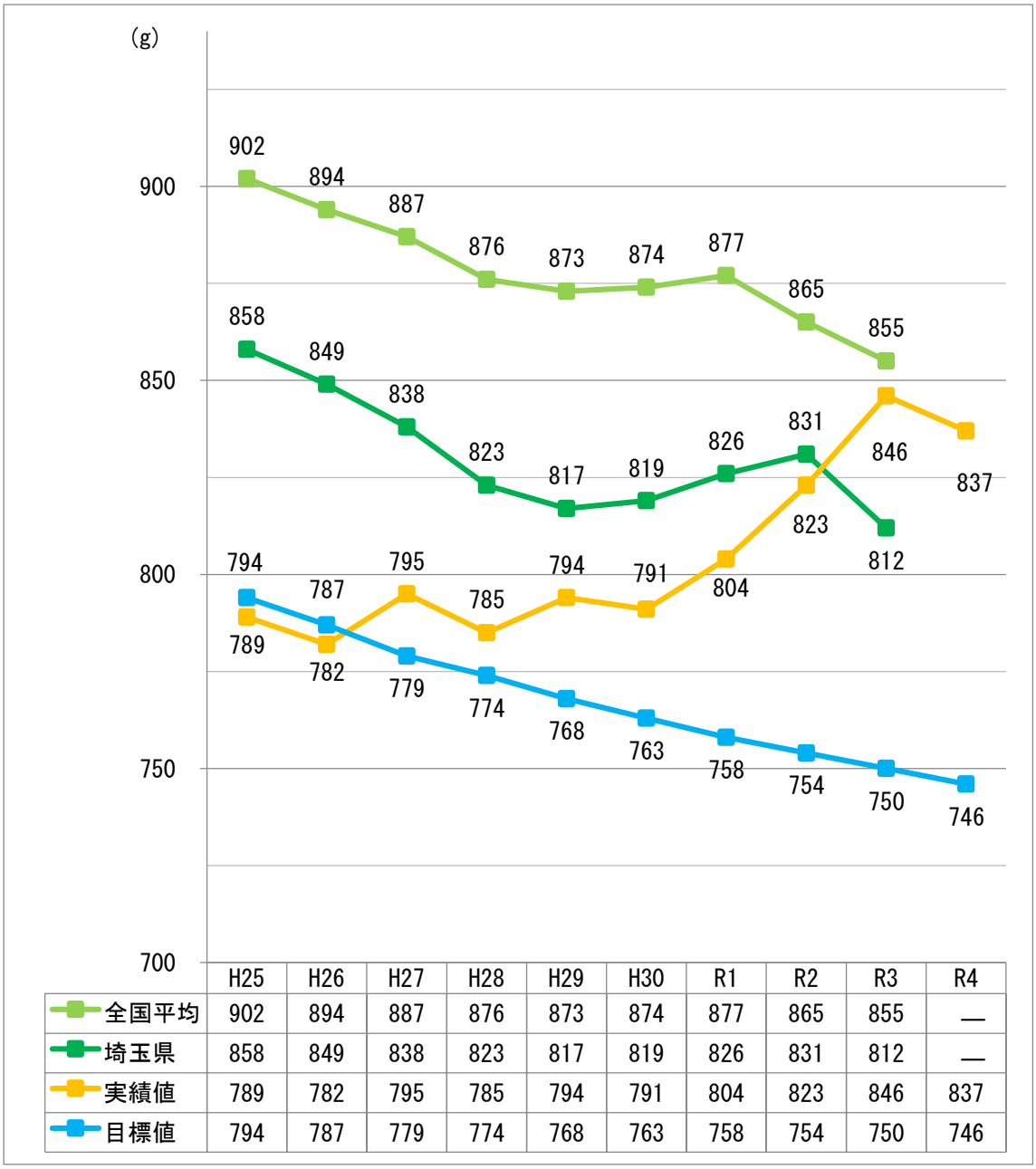
目数値	平成 23 年度 2,170t　⇒　令和 4 年度 2,091t 以下

※①～②の用語の定義は、本計画における用語による。

① 1 人 1 日あたりのごみ排出量

1 人 1 日あたりのごみ排出量は、平成 24 年度から平成 26 年度までは減少傾向にあり、目標値を下回っていましたが、その後は増加傾向に転じて、目標値との乖離が広がっています。要因としては、事業系ごみが右肩上がりで増加したことに加えて、生活系ごみが平成 30 年度まで減少傾向で推移した後、新型コロナウイルス感染症の影響により増加したことです。

図表 13　目標値と実績値の比較（1 人 1 日あたりのごみ排出量）

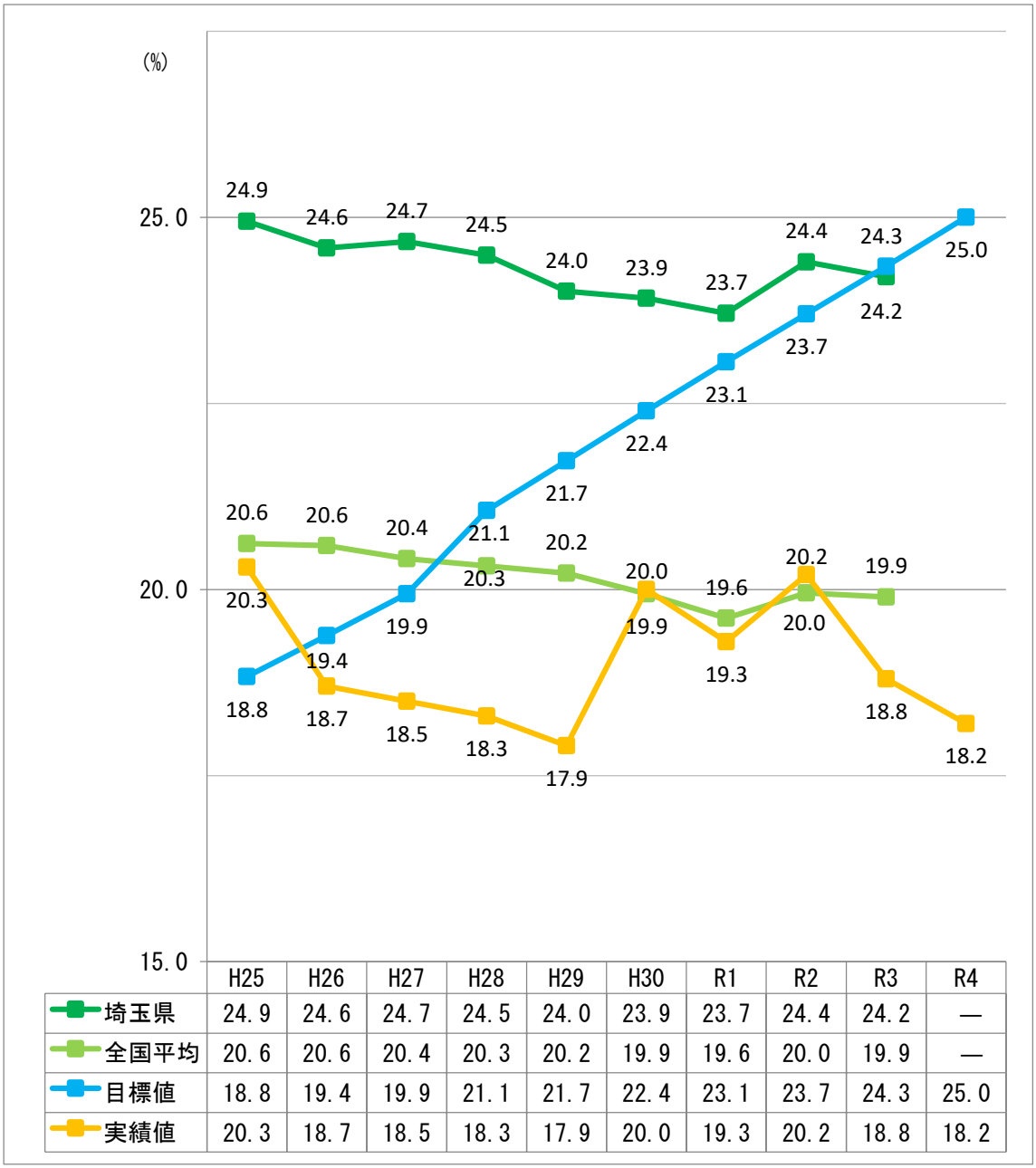


	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国平均	902	894	887	876	873	874	877	865	855	—
埼玉県	858	849	838	823	817	819	826	831	812	—
実績値	789	782	795	785	794	791	804	823	846	837
目標値	794	787	779	774	768	763	758	754	750	746

② ごみの資源化率

ごみの資源化率は、直近 10 年間は概ね 20%前後で推移しており、目標値との乖離が続いています。集団資源回収量や新聞の収集量の減少などの要因はありますが、資源ごみの分別が徹底されていないことが根本的な原因と考えられます。

図表 14 目標値と実績値の比較（ごみの資源化率）

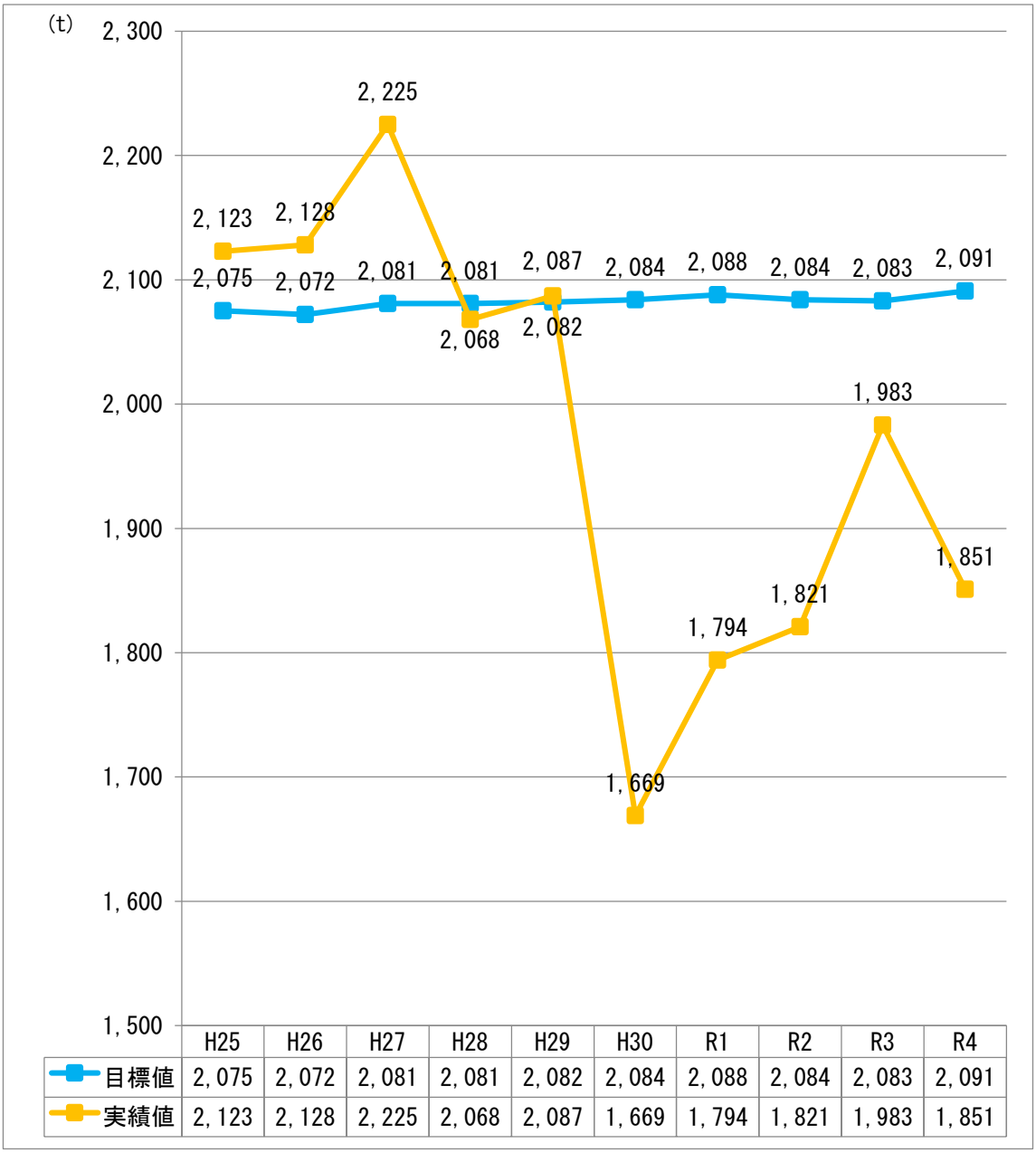


	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
埼玉県	24.9	24.6	24.7	24.5	24.0	23.9	23.7	24.4	24.2	—
全国平均	20.6	20.6	20.4	20.3	20.2	19.9	19.6	20.0	19.9	—
目標値	18.8	19.4	19.9	21.1	21.7	22.4	23.1	23.7	24.3	25.0
実績値	20.3	18.7	18.5	18.3	17.9	20.0	19.3	20.2	18.8	18.2

③　最終処分量（埋め立て量）

最終処分量（埋め立て量）は、平成 25 年度から平成 29 年度までは目標値を上回っていましたが、平成 30 年度以降は目標値を下回っています。ただし、目標値と実績値が接近した状況が続いています。

図表 15　目標値と実績値の比較（最終処分量（埋め立て量））



	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
目標値	2,075	2,072	2,081	2,081	2,082	2,084	2,088	2,084	2,083	2,091
実績値	2,123	2,128	2,225	2,068	2,087	1,669	1,794	1,821	1,983	1,851

（６）令和４年度における事業の実施状況

取組施策	実施状況
1　発生抑制･排出抑制の推進	
（１）ごみ減量への意識啓発及び教育の充実	
① 子どもに対する環境教育の推進	・環境センター施設見学の実施（旭小学校・三輪野江小学校）
② 意識啓発活動の推進	・広報紙（記事を 9 回掲載） ・出前講座の実施（2 団体 60 名参加）
③ パートナー収集の実施	・ごみの排出が困難な世帯に対するパートナー収集の実施（令和 4 年度末時点で 29 世帯が利用中）
④ 美化活動の推進	・江戸川クリーン大作戦、市内一斉美化運動及び地域美化活動の支援及び集めた廃棄物の収集を実施
（２）ごみの発生抑制･排出抑制に向けた取り組み	
① コンテナ収集地域の拡大	・利用を希望する集積所にコンテナの配布（随時）
② ペットボトル回収用ネット袋の普及･拡大	・利用を希望する集積所にペットボトル回収用ネット袋の配布（随時）
③ 事業系ごみの排出者指導	・事業者向けのリーフレットの作成（開発事前協議の際に随時配布） ・東埼玉資源環境組合に搬入した可燃ごみの内容物検査に立ち会い、産業廃棄物を混入した事業者に対して指導の実施
④ 生ごみの水切り排出の促進	・啓発品（水切り器）の配布（令和 4 年度に 86 戸、平成 26 年度から令和 4 年度まで累計 2,308 個）
⑤ ごみ処理有料化の検討	・東埼玉資源環境組合構成市町とプラスチックごみの分別収集やごみ処理有料化について協議を行った。
2　ごみ資源化の推進	
① 生ごみ処理機の普及･促進	・生ごみ処理容器等に対する助成制度の継続実施（電気式生ごみ処理機 17 基、生ごみ処理容器 5 基（令和 4 年度）） ・補助実績 612 基（平成 11 年度～令和 4 年度累計）

	② 資源回収の促進	・資源回収奨励補助金の交付（実施数 63 団体、回収量約 1,044t、交付額 4,382,760 円）
	③ 雑がみリサイクルの推進	・出前講座において紙の分別方法等を周知 ・啓発品（雑がみ回収袋）の配布（令和 4 年度 654 枚、平成 29 年度から令和 4 年度までの 6 年間で約 11,000 枚を窓口や説明会で配布）
	④ 廃家電製品のリサイクル	・小型家電リサイクルについて、令和 2 年 3 月に認定事業者と協定を締結し、パソコン及び小型家電の宅配便による回収を実施
	⑥ リサイクルシステムの確立	・資源回収ボックスの設置（紙・衣類を搬入できる倉庫。市内 7 ヶ所）による拠点回収を実施 ・平成 29 年 6 月にプリンターメーカーが参画する「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」と称する廃インクカートリッジの共同回収活動に参加し、使用済みインクカートリッジの拠点回収を実施
	⑦ 剪定枝･刈草の資源化の促進	・東埼玉資源環境組合堆肥化施設への直接搬入について出前講座で周知
3　適正処理の推進		
	① 事業者に対する適正処理の指導	・東埼玉資源環境組合に搬入した可燃ごみの内容物検査に立ち会い、産業廃棄物を混入した事業者に対して指導を実施（再掲）
	② 不法投棄対策の実施	・被害を受けている場所の土地所有者や管理者への指導、投棄物の早期撤去の依頼・支援 ・不法投棄防止看板の作成及び配布（令和 4 年度は 43 枚、平成 28 年度から令和 4 年度まで 587 枚）
	③ 資源物持ち去り防止対策の実施	・職員によるパトロールを随時実施 ・ごみ集積所に持ち去り禁止看板を設置（令和 4 年度 43 枚、平成 29 年度から令和 3 年度まで 587 枚）
4　効率的かつ効果的なごみ処理体制の構築		
	① 市民や事業者に対するごみの出し方の啓発	・HP、広報誌、出前講座等で啓発を実施 ・不適正なごみの出し方を発見した際に指導等を適宜実施
5　環境負荷の低減化に対する取り組み		
	① 3R（リデュース、リユース、リサイクル）等の啓発活動の拡充	・広報誌への掲載や出前講座の実施による 3R（リデュース、リユース、リサイクル）等の普及･啓発